

公益社団法人日本地震工学会 第 41 回理事会議事録

A.日時： 2019 年 8 月 21 日（水） 16 時 00 分～19 時 15 分

B.場所： 建築会館 301+302 会議室

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）鳥井信吾，山田 哲

（担当理事）中村洋光，徳光亮一，山本雅史，入江さやか，永野正行，清田 隆，小檜
山雅之，五十嵐晃，宮腰淳一

（監事） 久田嘉章，三輪 滋

欠席：（副会長）秋山充良，（担当理事）松岡太一，久保智弘，目黒公郎，丸山喜久

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局長

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1) 第 40 回理事会議事録（案）確認（徳光理事） | 資料 41-01 |
| 2) 会務報告（中村理事） | 資料 41-02 |
| 3) 会計報告（山本理事） | 資料 41-03 |
| 4) 会員部会からの報告（徳光理事） | 資料 41-04 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 41-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村理事代理報告） | 資料 41-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 41-07 |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事） | 資料なし |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 41-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事） | 資料 41-10 |
| 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長代理報告） | 資料なし |
| 12) 2019 年度大会に関する報告（五十嵐理事） | 資料 41-12 |
| 13) 研究委員会成果報告会について（中村理事代理報告） | 資料 41-13 |
| 14) メール審議結果の報告（2 件）（中村理事） | 資料 41-14 |

議案

- | | |
|---|----------|
| 第 1 号 入退会者（徳光理事） | 資料 41-15 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱・外部委員会等の委員（中村理事） | 資料 41-16 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（徳光理事） | 資料 41-17 |
| 第 4 号 論文集倫理規程の制定および関連諸規程の改定について（小檜山理事） | 資料 41-18 |
| 第 5 号 「平成 28 年熊本地震と ESG 研究」シンポジウムについて（中村理事代理報告） | 資料 41-19 |

懇談事項

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1) 来年度地震工学会大会の開催について（中埜会長） | 資料なし |
| 2) JAEE 創立 20 周年記念事業について（中埜会長） | 資料なし |

E.議事録：

報告事項

- 1) 第40回理事会議事録（案）確認（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料41-01に基づいて第40回理事会議事録の説明が行われた。
- 2) 会務報告（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料41-02に基づいて会務報告の説明がなされた。
- 3) 会計報告（山本理事）
 - ・ 山本理事より資料41-03に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 会員部会からの報告（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料41-04に基づいてスペシャルアドバイザー規程の改定案、募集メール文案の修正案および申請書の修正案についての説明がなされた。
 - ・ 募集メール文案において不要と思われる記載が指摘され、当該箇所を削除することとした。また申請書において記載例の追記および一部の誤記を修正することとした。
- 5) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・ 入江理事より資料41-05に基づいて広報部会の活動について説明がなされた。また、大会開催に関するプレスリリース案が紹介された。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村理事代理報告）
 - ・ 中村理事より資料41-06に基づいて、JAEE Newsの発行状況、メールニュース巻頭言の執筆スケジュール、今後の活動予定等について説明がなされた。
- 7) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料41-07に基づいて、委員会の開催状況および会誌第38号、第39号の進捗状況について説明が行われた。会誌第39号では歴代学会長のインタビュー記事を掲載する予定であり、作業量が多いことから、通常より前倒しで作業に着手していることが紹介された。
- 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事）
 - ・ 清田理事より国際委員会、地震災害対応委員会等のメンバー選任の考え方について紹介され、今後の選任方針について議論した。
 - ・ 国際委員会の作業として、地震災害に関する英文資料を作成することが考えられることから、地震災害対応委員会の委員の方にも国際委員会に参加していただきたいことが報告された。
 - ・ 地震被害調査関連学会連絡会に参加していただく他学会の委員は、充て職にさせていただくように調整した方が良いとの意見が出された。また、災害時に連絡会が機能するためには、各委員が互いに知り合いであること、日頃のコミュニケーションが必要であるとの意見が出された。
 - ・ 留学生を卒業後も会員に引き留める対策として、留学生が国際委員会に参加し、JAEE Newsletter等の英文資料の作成に協力していただくのが良いのではないかと、会費無料の連携会員のような会員資格を作り、海外の地震被害調査の際に連携をとれるようにすると良いのでは何か、といった意見が出された。
- 9) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）
 - ・ 小檜山理事より資料41-09に基づいて、7/5に開催された論文編集委員会での議論およびその他活動状況について報告された。
 - ・ 論文賞、論文奨励賞の授賞対象者は、会員に限定してはどうかとの意見が出された。一方で、当学会が公益法人化した時期の理事会において、授賞対象者の範囲を拡げるべきとの議論が出されたことが紹介された。
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）
 - ・ 宮腰理事より資料41-10に基づいて、今年度の事業企画予定について報告された。また、Eデ

ィフェンス見学会の開催概要案について紹介され、異議なく承認された。

11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中笠会長代理報告）

- ・ 中笠会長より資料 41-11 に基づいて、17WCEE の準備状況について、アブストラクトの募集受付および参加登録受付が開始されたことが報告された。また、収支バランスに十分に注意していることが報告された。

12) 2019 年度大会に関する報告（五十嵐理事）

- ・ 五十嵐理事より資料 41-12 に基づいて、日本地震学会・日本地震工学会 2019 年合同大会の準備状況について報告された。
- ・ 優秀発表賞の対象は、合同セッションでの若手発表者も含めることとした。
- ・ 地震工学会論文集の書式が改訂されたので、次回以降は大会原稿の書式も修正した方が良く、ページ数の下限を引き下げると投稿数が増えるのではないかと、といった意見が出された。

13) 研究委員会成果報告会に関する報告（中村理事代理報告）

- ・ 中村理事より資料 41-13 に基づいて、「原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会」の報告会が開催されたことについて報告された。

14) メール審議結果の報告（2 件）（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 41-14 に基づいて、「2019 年度計算力学技術者資格認定事業」の協賛および「第 12 回太平洋鋼構造会議」の後援について審議の結果、両案件とも承認されたことが報告された。

議案

第 1 号 入退会者（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 41-15 に基づいて、入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 7 名、学生会員 1 名、法人会員 1 団体について異議なく承認された。また退会者として正会員 2 名、学生会員 1 名について異議なく承認された。復活者として正会員 2 名について報告された。

第 2 号 委員会委員の委嘱・外部委員会等の委員（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 41-16 に基づいて、新規に委員会委員となる方が紹介され、異議なく承認された。また地震被害調査関連学会連絡会については対象委員を確認中であること、国際委員会については、対象者を選定中であることが報告された。

第 3 号 共催・後援・協賛等（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 41-17 に基づいて、共催 1 件、後援 5 件、協賛 3 件の名義使用依頼が報告され、異議なく承認された。

第 4 号 論文集倫理規程の制定および関連諸規程の改定について（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 41-18 に基づいて、論文集倫理規程の案および関連諸規程の改定案について報告された。
- ・ 論文編集規程に記載されている論文投稿者の異議申し立ての条項は、論文投稿規程に記載した方が良くとのコメントが出された。
- ・ 論文投稿規程に記載されている掲載料の表のうち、不要な欄は削除することとした。
- ・ 論文審査規程、論文集投稿規程の文中で一部の条項の番号に誤りが見られるので、修正することとした。
- ・ その他、各規程の間で用語を統一することとした。
- ・ 上記の事項を踏まえ修正された各規程案について、後日メール審議することとした。

第 5 号 「平成 28 年熊本地震と ESG 研究」シンポジウムについて（中村理事代理報告）

- ・ 中村理事より資料 41-19 に基づいて「平成 28 年熊本地震と ESG 研究」シンポジウムの開催概

要について説明があり、異議なく承認された。

- ・ 本資料を記者クラブにおいてプレスリリースとして配布することとした。

懇談事項

1) 来年度地震工学会大会の開催について（中埜会長）

- ・ 中埜会長より来年度の大会を開催するかについて問題提起され、議論された。
- ・ 来年度は17WCEEの開催年に当たり、大会を開催する場合は論文の投稿数が例年よりも少なくなるのが予想されることが指摘された。
- ・ 来年度以降の地震学会との合同開催の可能性については、今年度の状況を踏まえて決めることになるとの見解が出された。
- ・ 開催場所、開催期間（規模）について、山田副会長を中心に検討を進めることとした。

2) JAEE 創立 20 周年記念事業について（中埜会長）

- ・ 中埜会長より JAEE 創立 20 周年事業の進め方について提案された。
- ・ 秋山副会長を中心に、事業計画については事業担当、20 年史の編纂については総務担当が協力して検討を進めることとした。

次回予定：第 42 回理事会 令和元年 10 月 10 日（木）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和元年 9 月 11 日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋